

デジタルヘルスケア開発・導入加速化事業
事後評価結果

1. 補助事業課題名 : 機械学習に基づく正常核型胚スクリーニング法の SaMD
としての開発と経済的効果の実証研究
2. 補助事業代表者氏名（所属） : 伊藤 慎悟（株式会社メデタ）

<評価コメント>

生殖補助医療に用いる受精卵の胚評価を行う SaMD を開発し、周産期管理から胚培養を管理する培養ソフトウェアと胚画像データ等により胚評価を行うことを可能にした。胚培養士による PGT-A 関連業務と比較して胚評価時間の短縮、業務工程の削減ならびに判断負担の軽減について所期の目標を達成した。

以上